

FM 84.2 for all

あなたを、  
伝えたい 14

岩崎 幸教

サポートを受けています。他にも地域力コーディネーター養成講座やアートパフォーマンスなどと一緒にさせていただくことが多く、ますます開かれたキャンパスとして、メディアと密接な連動がなされていくと思います。

「経営と情報をとっちも学びたいと思うなら、つくば市全体をキャンパスにして学びたいなら、充実したキャンパスライフをエンジョイしたいなら、筑波学院大学「スヌミライハ」という学生がハンドメイドした軽快なCMや、毎週月曜日23時30分から放送中の学生視点で街、人、未来、思いを語る番組「やつてみるか!」など、常に協働させていただいているのが、筑波学院大学の皆さんです。

4月27日も、つくば青年会議所主催の「つくばハピまち〜ココがつくばのいいところ〜」で司会をさせていただきました。イベント会場として地域活動に大きく貢献されていて、私たちもホーム感覚でたくさん学生の



筑波学院大学はラチオつくばを90%以上の学生が知っていました!

その根幹にあるのは、おなじみになりました「オフキャンパスプログラム(略称、OCP)」ではないかなと思います。このプログラムは、つくば市を中心に茨城県内外の活性化を目指す活動です。自治体、企業、NPO団体のプロジェクトに参加して実行力やコミュニケーション力を培うことが目的で、ラチオつくばも開局当初から参加させていただいています。今まで20名近くが番組制作やイベントのサポートなどで大きく関わってくれました。今年も先日開催された説明会で30名以上の学生が熱心に耳を傾けてくれていました。これからのようなことをやっていけるか、とても頼もしく感じています。

5月には、つくばFCの協力のもと、ビジネススマネジメント専攻の一つとして「メディア論」の授業をやらせていただきました。こうした民間との積極的関係性の構築で、チャンスフィールドを提供していただいたことで、卒業して社会人に巣立っていく学生の皆様に何か良いきっかけを作ってあげることができたら、この街で仕事をする会社としては、少しはお役に立てるかなと感じています。

筑波学院大学の皆さん!一緒に街(メディア)づくりしませんか?

(ラチオつくば代表取締役・局長)